

ネット創作活動としてのボーカロイド

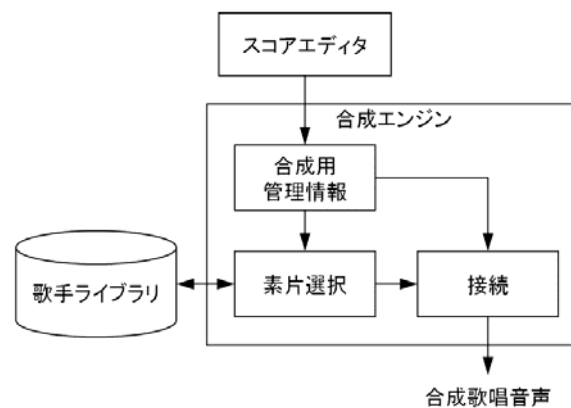
09L4069 大柿 佑太

1. ボーカロイドとは

VOCALOID とは、もともとヤマハ株式会社が開発した歌声合成技術および、その応用ソフトウェアのことである。名前の由来は「歌声」の「vocal」と「～のようなもの」という意味の接尾語「～oid」を合わせた造語である。

2. ボーカロイドの技術

ボーカロイドの歌声合成システムはスコアエディタ、歌声ライブラリ、合成エンジンで構成されている。



3. 音声合成技術関連製品

(1) UTUA

UTAU は歌声音声を合成することができるフリーソフトのことである。飴屋／菖蒲氏が作ったソフトウェアだが、ボーカロイドとは仕組みが違う。自分たちで音源を組み込むことができる。

(2) MMD(MikuMikuDance)

樋口優氏が開発した 3D ポリゴンの CG ツールであり、あらかじめ用意されている 3D のモデリングデータを躍らせる楽曲のリズムに合わせていく。手足や身体のみでなく、口の動きやまばたきなどの設定も可能になっている。

4. ボーカロイドの知的財産権

(1) ピアプロ・キャラクター・ライセンス(PCL)

クリプトンがクリエイターに自由な二次創作を許諾し保障するためのもの。非営利

で無償の利用に限りクリプトンのキャラクターの利用を認める。

(2) ピアプロリンク

営利目的ではないが材料費程度の対価を受け取る有償の利用を可能にする仕組み。

(3) クリエイティブ・コモンズライセンス

初音ミク、鏡音リン、鏡音レン、巡音ルカ、MEIKO、KAITO のパッケージに利用されているイラストを対象に、CC ライセンスの「表示 - 非営利 3.0」でライセンスされ、(1) 原作者のクレジット表示、(2) 非営利、を条件に複製や二次著作物の作成を自由にできる。

国内ユーザーは今まで通り PCL を利用できる。

5. メディア展開

(1) アニメ

(2) ゲーム

(3) 舞台(ミュージカル)

(4) 音楽ライブ

6. ビジネスモデル

(1) CD (ボカロ P・レコード会社)

クリエイターとレコード会社が直接契約を結び CD を発売し、その売り上げによりビジネスとする。

(2) コラボ企画 (ファミリーマート・クリプトン・ボカロ P)

ファミリーマートが「ファミリーマート×初音ミクプロジェクト」を企画し、全国約 8900 店舗のファミリーマートで実施されるキャンペーンを行った。食料品をはじめ、飲料品、文房具、玩具やグッズなどがあり、テレビ CM も流された。

(3) 自動車レース (グッドスマイルレーシング・クリプトン・各スポンサー)

個人スポンサー制度を導入し、レースファン・初音ミクファンに個人スポンサーとして参加・応援できるよう、少額からのスポンサーになれるようになっている。それぞれの金額に応じてフィギュアや応援グッズなどの様々な特典が付いている。

6. 考察

初音ミクを発端とするボーカロイド現象は様々な衝撃を起こした。中でも才能はあるが埋もれてしまいがちなアマチュアを発掘できるネットにおける創作活動は、これからも続いていくだろうと思う。

しかしデビュー後も利益のみを追求して活動を行ってしまうと、ファンは離れて行ってしまう。特にニコニコ動画などからデビューしていった人たちにはそれが顕著である。レコード会社もデビュー後もある程度、ネットでも活動できるような配慮が必要なのではないかと思う。